



## 台風第19号による災害からの復旧 今こそ、思いはひとつ。

“ 記録的な大雨をもたらした昨年10月の台風第19号の影響により、本学の世田谷キャンパスは甚大な被害を受けました。1号館地下の倉庫や練習場が水没してしまったことで、学生たちのクラブ活動にも大きな影響が及んでいます。その中、お互いに助け合い、復旧に向けて奮闘する学生たちの姿がありました。120余りある課外活動団体の中から、今回は取材に応じてくれた6つの団体を紹介します。

心強い仲間がいたからピンチを乗り越れた

# 知恵をシェアして 前進する！

アメリカンフットボール部



知識工学部  
経営システム工学科  
3年・次期部長  
吉田息吹君

工学部 都市工学科  
2年・マネージャー  
金子 倫さん

工学部 建築学科  
4年・部長  
木下友貴君

### SNSによる情報共有でチーム運営を立て直す

関東学生アメリカンフットボール秋季リーグ戦の真っ只中を襲った台風第19号。その影響で河川敷のグラウンドが冠水してしまい、アメリカンフットボール部は練習ができなくなりました。「台風に備えて、ヘルメットやショルダーなどの防具類や備品は予め18号館(部室棟)へ避難させておいたので無事でしたが、グラウンドにあった移動式ポールやナイター用照明などは、200m下流まで流されてしまいました」(木下君)。「練習場が思うように確保できず、それまで週5日で行っていた練習が、3日に減ってしまいました。シーズン中でしたので、正直、痛かったです」(吉田君)。

練習場の確保に追われた部員を救ってくれたのがOB陣でした。個々の伝手を頼って積極的に連絡を取り合い、練習グラウンド探しに尽力してくれたそうです。「まずOBの繋がりが強い、社会人アメリカンフットボールXリーグの2部に所属する横浜ハーバースさんから合同練習の申し出を頂きました。また、公式ツイッター上で練習場の提供について呼びかけたことがきっかけで、平日朝の情報番組のテレビ取材を受けたのもありがたかったですね。というのも、その番組を見た電気通信大学

の監督さんからグラウンドを貸してくれると申し出があり、合同練習もさせて頂くことになりました。あらためてSNSの影響力の大きさに驚かされました」(木下君)。

選手たちが心身両面において練習や試合に集中できる環境を継続して維持するためには、マネージャー陣の存在は欠かせません。そ

んな縁の下の力持ちたちも戸惑いが隠せないようでした。「練習グラウンドが毎週変わるので、その都度移動の準備も大変でした。グラウンドの状況によっては、道具類の配置場所や水分補給時といった、選手たちへのサポートの仕方も変わります。特に、まだマネージャーとして日が浅い1年生は大変だったと思います」(金子さん)。

グラウンドの復旧工事は2月以降から始まるとのことで、次期部長の吉田君は、春からの活動に不安を抱いているようです。「春は、体力強化のために練習量も増やしていかなければならない時期です。練習グラウンドの復旧が万一間に合わなかった場合、春からの練習場をしっかりと確保できるのか、今からとても不安です」(吉田君)。

これから卒業を迎える先輩部員たちも、後輩部員たちが安心して練習に専念できるよう、できる限りのサポートをしたいと考えているようです。「春は新チームの活動をスタートさせる大事な時期で、チーム目標や方針など共有するためにも、練習やミーティングに時間を費やす必要があります。卒業間近ですが、後輩たちの不安を少しでも軽減するためにも、練習場の手配など、できる限りの協力をしていこうと思います」(木下君)。



試合中は鋭い目付きのクォーターバック  
木下部長!



試合のハーフタイムでのコーチとのミーティング